

就職とは縁遠いと思われがちな文学部。しかし、文学部でこそ社会で求められる基本的な能力が身につけられるのではないのでしょうか。少人数のゼミで討論を重ねて学び合い、卒業論文を提出するにいたる学びの過程で、徹底した調査・情報収集力、批判的読解力や論理的思考力、そして文章表現力、コミュニケーション・ディスカッション力を鍛え上げることができます。なにより人文諸学に裏付けられた深い人間理解は、社会に出てさまざまな人々と仕事をするのに不可欠のものでしょう。

本シンポジウムでは、文学部での学びを通じて、社会に出て必要とされる力はどのように養えるのか、また社会人として文学部卒業生はどのような点を強みにできるのかを考えてみます。

講演者略歴(敬称略)

山田 ズーニー / 文章表現・コミュニケーションインストラクター

1961年生まれ。慶應義塾大学非常勤講師。ベネッセコーポレーション小論文編集長を経て、2000年フリーランスに。文章表現力・コミュニケーション力の育成に、全国多数の大学・企業で取り組んでいる。2000年より『ほぼ日刊イトイ新聞』に「おとなの小論文教室。」連載中。著書は『伝わる・揺さぶる!文章を書く』(PHP新書)、『あなたの話はなぜ「通じない」のか』(ちくま文庫)、『おとなの進路教室。』(河出書房新社)他多数。

山田 和人 / 同志社大学文学部国文学科教授

1952年生まれ。専門は日本近世の文学と芸能。主著に『洛東遺芳館所蔵 古浄瑠璃の研究と資料』(和泉書院、2000年)、叢書江戸文庫37巻『豊竹座浄瑠璃集(三)』(国書刊行会、1995年)等、近年の論文に「竹田からくりの演目と分類」『西鶴と浮世草子研究』5号(2011)、「からくりと式亭三馬の滑稽本」『同志社国文学』72号(2010)他。また教育関係の業績として、「同志社大学のPBLプロジェクト学習とポートフォリオ(1)~(3)」『文部科学教育通信』227~229号(2009)などがある。

藤村 博之 / 法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科教授

1956年生まれ。京都大学博士(経済学)。1997年に法政大学経営学部教授、2004年4月から現職。2007年度から2010年度まで法政大学キャリアセンター長を務めるとともに、2010年度から就業力育成支援プロジェクトリーダーも兼務。専門は労使関係論、人材育成論。著書に、『人材獲得競争—世界の頭脳をどう生かすか』(竹内、末廣と共著、学生社、2010年)、『新しい人事労務管理[第4版]』(共著、2011年)などがある。

市ヶ谷キャンパス

ボアソナード・タワー

最寄り駅からのアクセス

【JR線】 総武線
市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分

【地下鉄線】

- ▶ 都営新宿線 市ヶ谷駅下車徒歩10分
- ▶ 東京メトロ有楽町線 市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分
- ▶ 東京メトロ東西線 飯田橋駅下車徒歩10分
- ▶ 東京メトロ南北線 市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分
- ▶ 都営大江戸線 飯田橋駅下車徒歩10分

本シンポジウムへの参加をご希望の方は、下記URLまで、あるいは下記QRコードで、お申し込みください。定員(120名)になり次第、受付を終了させていただきます。



パソコンからのお申し込み

<https://www.hosei-web.jp/fm/10194.html>

携帯電話からのお申し込み

<https://www.hosei-web.jp/fm/m10194.html>

問い合わせ先: 法政大学学務部学部事務課文学部担当 jhun@hosei.ac.jp

お送りいただきました個人情報は本目的以外には使用しません